

北海道立北方建築総合研究所 NEWS LETTER

北方かわらばん

Mail Magazine VOL.6 2009/04/30

「北方かわらばん」は、北海道立北方建築総合研究所が発行しているメールマガジンです。ホームページ等で配信登録された方にお送りしています。アドレスを登録した覚えのない方、登録内容の変更、配信停止は【管理者からのお知らせ】をご覧ください。このメールアドレスは配信専用のため、返信できませんのでご了承ください。

※MSゴシックなどの等幅フォントでご覧ください。

## 今月号のトピックス

第6号の内容はこちらです。

### ■イベントのお知らせ

平成21年北方建築総合研究所調査研究報告会（旭川）を開催します

### ■今回の特集記事

平成21年北方建築総合研究所調査研究報告会プログラム

### ■北総研からのお知らせ

防耐火業務の拡充を目指し、性能評価室を新設

## イベントのお知らせ

### ■【平成21年北方建築総合研究所調査研究報告会（旭川）を開催します】

平成21年の調査研究報告会（旭川）を平成21年6月8日（月）、6月9日（火）の2日間、当研究所において開催いたします。この報告会では、平成20年度に終了した全課題について発表を行うほか、北海道建設部住宅局建築指導課による北方型住宅ECOについての講演、当研究所鈴木主任研究員による改正省エネルギー法に関する話題提供などを行う予定ですので、ぜひご出席く

でございますようお願いいたします。  
詳しい内容につきましては、下記の特集記事をご覧ください。  
なお、先月号にてお知らせした日程より変更となりましたので、ご了承ください  
ますようお願いいたします。

=====  
今回の特集記事  
=====

■【平成21年北方建築総合研究所調査研究報告会プログラム】

開催日時 平成21年6月8日(月) 13:00～17:05  
6月9日(火) 9:15～17:20

開催場所 北方建築総合研究所 多目的ホール  
旭川市緑が丘東1条3丁目1-20

※※※

□1日目(6月8日) 主に設計者や行政に関する研究を想定しています。

- 13:00～ 開会挨拶
- 13:10～ 要介護高齢者のための住宅改造に関する研究(長谷川)
- 13:35～ 北方型民間賃貸住宅に関する研究(大村)
- 14:00～ 道産木材を活用した公営住宅に関する研究(鎌倉)
- 14:25～ 建築確認業務における構造審査手法に関する研究(北川)
- 15:00～ 既存計画住宅地の再生に関する調査研究(松村)
- 15:25～ 気流制御による建物の積雪障害防止技術に関する基礎的研究  
(堤)
- 15:50～ 台風による森林被害(風害)を軽減するための森林整備技術の  
開発(堤)
- 16:15～ 耐震改修促進計画策定支援のための全道市町村地震防災マップ  
作成に関する研究(竹内)
- 16:40～ 北海道における集落の地域防災力評価手法に関する研究  
(竹内)

※※※

□2日目(6月9日)

- 9:15～ 開会挨拶
- 9:20～ 「北方型住宅E C O及びR住宅について」(道建築指導課)
- 9:50～ 「改正省エネルギー法について」(鈴木)
- 10:20～ 住宅用トータルエネルギー予測プログラムの開発(月館)
- 10:45～ 北海道の木造住宅の耐震改修促進を目的とした耐震診断・補強  
効果評価手法に関する研究(植松)



企画総務部性能評価室  
0166-66-4238, 4239 (直通)  
info@hri.pref.hokkaido.jp

※※※

【編集後記】

平成22年度の独法化まで、いよいよ1年を切りました。22の試験研究機関を1つの地方独立行政法人（以下、法人）に統合し、職員数1,400人の巨大な研究機関が誕生します。今後、組織や研究制度についての制度設計の検討も本格化し、近々、法人の概ねの“姿”を示すことができると思います。

さて、法人化に当たっては、試験研究機関の“あるべき姿”として「総合力の発揮」、「自律的な運営」、「外部との連携」、「効果効率的な運営」を掲げています。果たして、こうした“あるべき姿”を実現することができるのでしょうか。「総合力」や「外部連携」については（そもそも独法化しなくても可能ですが）、法人本部に企画・連携部門を設けることでコーディネート機能を強化すべく組織検討しています。また、「効果効率」の名の元の経費節減も（これも独法化に関わらず取り組むべきですが）、組織集約で実現しようとするものです。

そして、もう1つ「自律的な運営」です。新たな法人は人件費が圧倒的に大きく、いわゆる経済的に自立することは財政構造上不可能です。ここでの「自律」の意味は、柔軟に活動できる仕組みのことであり、例えば、的確な研究対応、迅速な社会還元、柔軟な人事や組織機構により機動的な研究・普及活動を行うことです。

こうした自律的な活動のためには、新法人としての総合的な普及事業も必要ですが、これまで各研究機関が独自で行ってきた普及活動についても継続していくことが必要と考えます。このため、北総研においてもこれまで行ってきた研究報告会や研究成果の普及、HPによる広報活動なども、今後とも継続していくことになるでしょう。そして、このニュースレターも重要な広報活動の一環です。内容の充実を図りつつ、これまで同様皆様方に北総研の活動をお届けしたいと思います。

(T)

=====

管理者からのお知らせ

=====

アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記のアドレスより購読解

除の手続きを行っていただくか、メールにてお知らせください。  
登録内容の変更や配信停止は、下記のアドレスをクリックしていただき、ホームページ上で手続きを行ってください。クリックしても正しく表示されない場合は、アドレスをコピーしてブラウザに貼り付けてご利用ください。  
メールアドレスの変更、配信停止の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がございますので、ご了承ください。

■購読申込・変更・解除はこちら

<http://www.hri.pref.hokkaido.jp/provide/mail.html>

変更・解除の場合は、備考欄に「変更」または「解除」と記載してください。

■各種お問い合わせ専用メールアドレス [info@hri.pref.hokkaido.jp](mailto:info@hri.pref.hokkaido.jp)

ご登録いただいた情報は、ニュースレターの配信及びイベント情報の配信を目的として利用し、それ以外の目的に使用することはありません。

---

発行：北海道立北方建築総合研究所企画指導室